

令和元年度第1回豊頃町総合教育会議会議録

- 1 開催日時 令和元年7月24日(水)
15時00分～15時57分
- 2 会場 豊頃町える夢館委員会室
- 3 出席者 豊頃町長 宮口 孝
豊頃町教育委員会
教育長 山本 芳博
教育長職務代理者
櫻井 康雄
委員 宝田 博幸
委員 長濱 竜一
委員 鈴木 千賀子
- 4 出席説明員 豊頃町役場総務課 課長 下重 博光
豊頃町教育委員会 課長 二村比呂志
課長補佐 須藤 裕子
給食センター所長
馬場 雅人
主幹 門 栄
- 5 協議・調整事項
(1) 豊頃町立学校校舎等建築について
(2) ICT教育及びプログラミング教育について
- 6 審議経過 次のとおり

令和元年度第1回総合教育会議議事録	
二村課長	<p>ただいまから令和元年度第1回豊頃町総合教育会議を開催いたします。はじめに豊頃町長よりご挨拶いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
宮口町長	<p>みなさん、こんにちは。何かとご多用のところ、本日の会議にご参集いただきありがとうございます。また、なかなか天候が優れず、晴れ間がなく太陽の顔を見ることが久しくないような時期です。農家の方にとっては、心配なところかと思えます。また、まもなく海の方では、秋鮭の漁が始まり、今年こそという期待でいることと思えます。</p> <p>今日の会議ですが、それぞれ経過を申し上げていきます。ただ、財政的な問題等については、ある程度目処がつかしましたので、十分時間を重ねながら慎重に進めて参りたいと思えます。実のある会議でありますことを念じ申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。</p> <p>今日はありがとうございます。</p> <p>それでは、協議・調整事項に入ります。</p> <p>(1) 豊頃町立学校校舎等建築について事務局から説明申し上げます。</p>
二村課長	<p>豊頃町立学校校舎等建築についてご説明します。</p> <p>3点説明させていただきたいと思います。1つ目は、こちらの事業の進捗状況です。2つ目は、今後の予定。そして3つ目としまして、計画している施設整備の全体構想について説明させていただきたいと思います。</p> <p>1点目の進捗状況です。資料を2枚めくっていただいて、3ページに行程表が載っています。令和元年から2年、3年、4年、5年までのスケジュールを書かせていただいています。</p> <p>まず最初に、現在の進捗状況ということで耐力度調査を今現在しています。こちらにつきましてはA3を3枚めくっていただいて資料といたしましては、6ページから9ページまで。こちらが今現在北海道と協議しながら進めています、耐力度調査の調査表となっているものであります。</p> <p>耐力度調査について簡単に説明させていただきたいと思います。耐力度調査につきましては、構造耐力・健全度・立地条件の3要素で判定します。</p> <p>6ページをご覧ください。1番上の部分につきましては、その</p>

建物の概要です。全く健全な建物につきましては、1万点。そして、老朽化など構造上不安定なもの、それぞれの条件で点数が下がっていきまして、4,500点以下になりますと、補助の対象、危険建物というふうに判定されるものです。

6ページの右、四角く囲まれているなかに4,653などそれぞれ数字が書かれています。今現在こちらの点数が4,500点以下ではじめて補助対象となりますが、本町の場合建築場所を豊頃中学校から小学校敷地に移設することを想定しているということで、耐力度の特例対象として500点が加わった5,000点以下であれば国庫補助、交付金対象となります。

現在審査中ですが、本町の見解と違う解釈があり、資料等を随時提出しながら説明している状況です。教育委員会としては、検討委員会から平成30年9月20日に提出された最終報告を受けている4点について、認識しています。

1つ目としましては、中学校の建設は改築。ただし、改築場所については、2論併記。

2つ目としまして、改築形態としては小学校一体併設校舎。

3つ目については、建築場所によるが、野球場などを1箇所に集約して、有効活用を図るもの。

4つ目としまして、財政課題として国庫補助金等可能な財源を利用し、地方債を確保するもの。

そして、財政が許すなら早期の改築が望ましいというのを受けて準備をしているところがございます。今現在、北海道と協議を進めている中、財源が確定できていない状況ですので、平成31年3月に完成した図面をベースに煮詰めていく作業がまだ出来ていないような状況です。

1点目の現状認識としましては、補助金、交付金の位置づけがきちんと出来ていないというふうになっています。

次に2点目です。今後の予定です。2つ考えられます。

今審査をいただいています、耐力度調査の結果で危険な建物と認められますと、先ほど見ていただきましたA3横長の3ページ豊頃中学校改築事業工程表で、8月の段に真ん中に道審査というものがあり、そこでOKとなると補助金・交付金事業として認められ、財源がはっきりしてきて次に進められるようになります。

今後の予定としましては、これをうけて補助金・交付金がもらえるような状況であれば、町長に事業年度を決めていただいて、

今のこの状況で財源は明らかになるので、議会に対して教育委員会がこれからの子ども達にとって、ふさわしい教育環境を提供できる校舎構想と事業スケジュールを説明していきたいと思えます。合わせて学校からの意見聴取等を行いながら、たたき台として作りました図面等の精査を進めていきたいというふうに考えているところです。

この3ページの行程表を使いながら説明させていただくと、道審査が認められれば、事業の完成・豊頃中学校の改築・豊頃小学校の改築が終わり、新しい中学校の開校というのが、令和5年度に実施可能というふうに考えられます。令和5年度に完成するためのプロセスとしましては、今持っている素案等を利用して広く意見を聞きパブリックコメント等を行い、それを基本設計に反映させ、それを煮詰めるような形で基本設計し、最終的には事業者へ委託するような形になりますので、それを決定するためのプロポーザル方式で実施するために、12月に補正予算を計上させていただき、プロポーザル方式による基本設計の業者選定。そうしますと令和2年度、来年度につきましては基本設計を行い、事務的には教育委員会が施設整備計画を提出し事業ヒアリングを受け、令和3年度から工事が始められるように4月20日前後に内示を受けたのち、5月の臨時会で議会の同意をいただき契約を結ぶ形で工事のほうが進められる状況です。

単年度では事業は難しいので、令和3年度に引き続き令和4年度では、小学校の一部改築と体育館の新築工事・建て替え工事になりまして、令和5年度につきましては、最後子どもたちが新しい学校で授業スタートをしたのち、古い校舎等については解体除去工事を行う事業スケジュールで考えています。

もしも、その道の審査で想定した補助金・交付金がもらえないとなった場合について、その部分について細かいところまで想定したものは作っていないので資料としてはついていないのですが、他の形で実施するとなれば、「義務教育学校の選択肢があるよ」という道のお話も聞いています。そうなるとうちまた違う色々な部分が出てくると思えますので、そこまでについては今のところ考えていないような状況です。

最後、3つ目の説明をさせていただきたいと思えます。今見ていただきました3ページを2枚めくっていただくと、R1というカラー刷りの図面がついています。こちらにつきましては、小

	<p>学校敷地、中学校敷地を利用して想定している建物のレイアウト、施設のレイアウトを考えた参考図です。今現在の小学校敷地のところには新たに校舎、それから体育館を増築するような形で進めてきました。トラックは、400mのトラックとはなりません、200mのトラック。直線の部分は、100mを確保するような形で、小学校の授業では十分対応できるのかなと。少年団活動で、中距離走を想定し、200mトラックが難しいとなれば旧豊頃中学校のグラウンド等も利用できるようなレイアウトで考えています。</p> <p>今まで視察とか色々な意見をお聞きする中で、校舎等を併せて考えるのだったら、保育所も合わせて整備したらいいのではないかとのお声もお聞きしています。その件については、施設を整備した事業者に聞きますと、保育所・幼稚園を併せて作る場合については、子どもたちの声とか騒がしさというのがあるので、施設規模としては大きいものにしないと難しいと聞いていますので、このプランとしましては⑦に認定子ども園、保育所等の施設の用地が可能と説明しています。</p> <p>中学校の敷地につきましては、400mトラックと野球場、それからソフトボールの球場も作れるような形のレイアウトになると考えています。また、総合体育館がもし移設するということになれば、その部分についても敷地としては用意できるのではないだろうか。</p> <p>今想定している部分ではこのレベルでございますが、今の2つの小学校、中学校の敷地の中に、想定できるものはおさまるといような考え方です。</p> <p>以上、説明を終わります。</p>
宮口町長	<p>ただいま報告等を説明申し上げました。 このことについてご質問等あれば伺いたいと思います。 道の審査は、8月中ですか。</p>
二村課長	<p>今、そのくらいまでに答えがもらえるかなと想定しています。</p>
山本教育長	<p>現在課長が説明したとおり、多少教育委員会で出しているものとの考え方の違いがあり、今調整がされている最中です。</p>
宮口町長	<p>建物はいいとして、今の中学校の跡地が400メートルトラックやソフトボール場になるんだね。 小学校の方は、小さいトラックなんだ。</p>
二村課長	<p>そうですね、200メートルのトラックです。</p>
宮口町長	<p>グラウンドを作る整備費は考えているんですか。</p>

二村課長	外構ということである程度はみていますが、グラウンドを本格的に作り直さないといけないとなったら、きっと今想定している金額では収まりません。
山本教育長	例えば中学校に野球場を移設するとしても、簡易なイメージの野球場を想定しています。塀をぐるっと回すようなイメージは考えられません。浦幌の下にあるような野球場ですとか、幕別の河川敷にあるような野球場ではなく、簡易的に作っていくイメージです。
宮口町長	学校の建物は、子ども達も利活用しますが、グラウンドがたくさんありすぎると。上だって年に何回かですよ。社会教育の部分が入ってくるかもしれませんが、グラウンドが3つも4つものなるのは。これ、スケートはどこでやりますか。
二村課長	今考えているのは、中学校の方です。
山本教育長	400メートルのグラウンドを整備する状況を想定して、ここにリンクを作ります。
宮口町長	リンクも難しく、グラウンドがダメになるから。それも考えなければいけないですね。 いずれにしても、8月の査定が決定するまでは、先が見えないのかな。仮に道の査定が通らなければ、別の角度から建築するんでしょ。道の査定は、年数が経っていれば受かるものでもないんだ。
二村課長	建物としては、40年超えている建物で0ですので、他の部分ということですよ。
宮口町長	危険校舎というのは、どんなものですか。40年経ったら危険ということでもないし。危険校舎にするのは、難しいんですよ。
二村課長	今はここについているとおり、建て替えをする場合については、プラス500点で5,000以下になるので、これでいけば危険校舎となります。
宮口町長	あとは、環境整備だよ。本格的にプロポーザルをやって、設計して、来年再来年で改築する。これから専門的な分野で図面もできてくると思いますが。近代的な学校だから、我々では理解できないけれども。
山本教育長	構想段階のレイアウトでこの距離感なので、中学校の野球については、小学校の野球少年団と活動時間が重なるので、そうすると新しく中学校跡地に設定する野球場を中学校の部活で使ってもらって、小学校のグラウンドにある野球のスペースは少年団で活用してもらうとか相互の利用を図りながら、使っていく感覚を今限られた敷地の中では考えています。

宮口町長	ある程度先を見るといふか、人口が減ってきて、野球部も本当に厳しい存在になっていて、高校は学校同士で協力し合ってチームを作る時代ですから。あっちにもグラウンド、こっちにもグラウンドがあったら、将来的にもお金がかかりますよね。質の良いもので、数は減らさないで。
山本教育長	本当は、学校敷地のあるところに両方想定できる広さのグラウンドがあればいいのですが、中学校が生徒数50名前後を想定しますと、はたして今ある部活動全体が活動できるかは若干疑問であり、心配されます。学校の敷地の中に全てを網羅してしまったら、また膨大な面積を要することになるのも心配です。今活動しているの、今の活動の場は、上手く利用しながら確保していく考え方を持っていけないといけないかなと思っています。
宮口町長	皆さん何かご意見はございますか。 今まで何回か学校視察しているんですか。見ても、温度差があるから、他所の町がよくてもうちの町にはいいとも限らないし。
山本教育長	資料の構想は、一部現実になるところもありますが、保育所の考え方が将来5年後なり10年後に小学校の近くにあつて、町民プールも活用できたり、小学校の体育館もちよつとした運動に活用できたり、というイメージを持った中で、教員住宅の建て替え時期も迫ってくるので、そういう意味を込めて⑦あたりにスペース的には確保できるイメージで。
宮口町長	⑦の現在地は何ですか。
山本教育長	現在地は教員住宅です。
宮口町長	プールはどこですか。
二村課長	プールは②の下あたりです。
宮口町長	私も⑤と⑦の横の畑、隣接地も含めて検討しても良いのではないかと考えています。 無理して詰めて入れなくてもいいし、配置図はいずれ変更した方がいいと思う。
山本教育長	学校の先生方の話や中学校の部活動の考え方もまだ煮詰まっていなところがあります。
宮口町長	教員住宅は何棟も学校の近くはいらんんじゃないですか。できるだけ町中に教員住宅を造つてあげないと。教員住宅にみんな入らないで、通うようになるし。 校長も教頭も学校の管理をしなければならない。セキュリティがしっかりしてればいい。

山本教育長	新しい校舎ができた暁には、恐らくセキュリティの外部委託も考えなくてはならないと思います。帯広市内はほとんど外部委託ですし、近郊もほとんど外部委託です。
宮口町長	夏休みは閉鎖してしまっていて、校長先生も教頭先生も毎日近くにいないたっている。一番今教育関係が民主的ではない。行政で言えば教育局で採用した者は、他所に行かずに教育局ばかりですから。上だけ移動して終わりです。 校長先生と教頭先生と一緒に集まったら、教頭先生は緊張していますもんね、皆さんもご存知のとおり。 いずれにしても、8月に審査が終わったら、また本格的に。ダメならダメでダメな方へ向かっていくし、良くて悪くても財源的な助成は似たようなものなんですよ。
二村課長	今想定しているのは、交付金で、補助率は3分の1です。ただ一部補助対象にならないものもあるので、大体トータルでいうと2割くらい。 もし交付金がダメな場合の1つの方法として、教育局から言われたのは義務教育学校にするというもの。義務教育学校となると、簡単にこちらでとはいかないかもしれませんが、補助率としては負担金事業ということで、2分の1となります。
宮口町長	財政的にはどちらに転んでも同じようなものですか。
山本教育長	外構でかかるものを除けば、15億くらいです。4ページにあるように、国庫補助金は22%で3億ほどです。
宮口町長	今聞いているのは、8月に決定した場合と、しなかった場合とでは、一般財源をたくさん出すのか出さないのか。
山本教育長	一般財源となります。
宮口町長	どれくらい必要なんですか。起債対応だってある。
山本教育長	そこはまだ不明です。
宮口町長	8月だったら時間がないんだけども、これは町長が上に行って頭下げてもあまり効果はないのかな。点数で出した資料に基づくから。
二村課長	今やりとりをされていて、難しいところはありますが、資料等作って説明すればもう少しお時間いただいて、普通どおりの対応をします。

宮口町長	実は、明日明後日25日の晩に知事、道教育長に会う懇親会があるんです。今回は、こういう計画やってるから、ひとつよろしく頼むで。
山本教育長	ご挨拶がてら、こんな構想をもっているのでもよろしくお願いたいなというお話をいただければありがたいです。
宮口町長	ある町は、危険校舎なのに全く手をつけないで直さない。年々点数が上がっていきますよね。
山本教育長	その町はうちよりも小学校と中学校が位置的には近いですよ。
宮口町長	教育委員会の職員は真面目だからそういうことしないけど、そこに行政の力を加えてやらないとなかなか進まない。
山本教育長	今回出札された折に、多少そういったお話をさせていただけると私達は有難いです。
宮口町長	いずれにしても25日はありますから、ちょっと名刺を渡してきます。
山本教育長	ちょっとした朗報があります。十勝教育局にいた方が、教育庁の総務政策局長になりました。Aさんという方で、副町長もご存知です。事情も多少なりとも話したりしていて、前日も寄ってきたりしているので、配慮していただけるかなと。
宮口町長	他に何かありますか。
櫻井委員	8月で道からやっていいよと言われてたら、このスケジュールで進みますか。
宮口町長	計画ですから。計画は予定にして、未定です。できるだけ早く進めていきたいです。今、教育基金はいくらですか。
山本教育長	3億ですかね。
宮口町長	もうちょっと1億か2億ずらせばいいのにね。5億あればなんとかやりくりできるでしょ。
山本教育長	先行きが明るくなるかなという数字ですね。
宮口町長	わかりました。それでは、この件につきましては終わります。次へ進んでよろしいですか。
各委員	はい。
宮口町長	では次に(2)ICT教育及びプログラミング教育についてです。事務局より説明いたします。

二村課長

ICT教育及びプログラミング教育についてです。

10ページから資料がついていますが、まず今回協議させていただくのは、プログラミング教育の実践校として豊頃小学校が指定されたことによるものです。プログラミング教育の必要性の背景から説明させていただきます。

グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代、子どもたちには自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。学校での学びを通じ、子どもたちがそのような生きる力を育むために、学習指導要領が約10年ぶりに改訂され、2020年、令和2年度より小学校から順に実施されます。小学校中学年から外国語教育を導入、小学校におけるプログラミング教育を必修化するなど社会の変化を見据えた新たな学びへと進化していくということが背景でありまして、そこで北海道教育委員会はプログラミング教育を推進するために、研究実践を行う道内の公立小学校20校を指定し研究実践の成果を収集し、その取組成果を全道に普及し、プログラミング教育の充実を図ることとしています。本年度から3年間、豊頃小学校と帯広市の稲田小学校が実践校として指定されたものであります。プログラミング教育は、コンピュータに意図した処理を行わせるための論理的な思考、プログラミング的思考などを育むことで、見えない部分を解明していく能力を磨いていけると考えています。

それでは今回協議させていただきますプログラミング教育事業の概要について13ページの資料をもとに説明させていただきます。

黒丸の2つ目、研究実践校の取組み内容。計画に基づき公開授業を実施する。2つ目として道教委が行う指導資料の作成に協力する。3つ目としまして、先進校の視察、教材等の調査研究を行う。4つ目としまして、成果の普及、研究実践の成果の発表、そして全道に向けて発信、普及していくということを取組みの内容としているものです。今回、豊頃小学校が指定されたことに伴いまして教育委員会としての取組みを次に掲げています。

黒丸の3つ目でございます。教育委員会の取組み内容としまして、環境整備を行う。教材の調達、ネットワーク整備を行いたいというふうに考えています。

こちらにつきましては、教材の調達に約30万。ネットワーク

	<p>整備に約20万を想定しています。</p> <p>事業が年度当初からではなく、7月にお話を聞いて今北海道としましても、全道をあげてプログラミング教育の普及に力を入れているところでありますのでそれに向けて、指定された豊頃町でもこれを積極的に進めていきたいと考えていまして、この教材の調達及びネットワークの整備の50万につきましては、出来れば9月補正で計上させていただき実施していききたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>そして、次に成果の普及協力という事で教育委員会は、研究実践の成果の普及に協力していききたいと考えています。事業年度としましては令和元年の7月から令和3年度末、令和4年3月31日までの指定期間となっています。</p> <p>北海道からの財政支援は限られたものではありますけれど、プログラミング教育を担当する教員の先進校視察とか教材研究費と合わせまして、今お話を聞いているのは178,600円というふうに聞いています。これらの事業を実施するために補正予算を組みながら、進めていききたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
宮口町長	<p>ただいま報告等を説明申し上げました。このことについてご質問等あれば伺いたいと思います。</p> <p>十勝で2校だけですか。</p>
山本教育長	<p>全道で20校、十勝で2校です。</p>
下重課長	<p>教員加配になるんですか。</p>
二村課長	<p>一応予定としては、そうなんです、年度の途中という事でなかなか見つからないので、十勝教育局としては色々力尽くしていただいておりますが、ひょっとしたら今年難しいかもしれないというふうに聞いています。</p>
宮口町長	<p>学校でやるんでしょ。予算つけるだけでいいのかい。</p>
山本教育長	<p>全道の研修会ですとか、行政職員も一緒に行かなければなりません。</p>
下重課長	<p>2020年度から義務化というのは、全校で全部の学校でということですか。</p>
二村課長	<p>小学校は2020年からです。</p>

須藤補佐	<p>1点よろしいですか。先ほど教育委員会議のときに、道からの支援が10万円と言うふうにお伝えしました。ここ178,600円となっているのですが、ここにあります備品購入費75,600円につきましては道が物を買って、これ使いなさいという事で全道20校に配布するものですので、豊頃町で使えるお金とはなっていません。</p> <p>また、巡回指導35,000円となっていますが、こちらも局の職員の方も入っていますので実際に使えるお金は32,000円ということで、豊頃町で使えるお金は10万円丁度ということになっていまして、先ほどの説明のとおりでございますのでよろしく願いいたします。</p>
宮口町長	そのお金はどこに入ってくるんですか。
山本教育長	<p>町に入ってきます。17万のうちの10万しか町に入ってきません。あとは、局でおさえています。</p> <p>うちの予算としては、備品の整理だとかを考えると5~60万の全体需用費が必要になるかなと。</p>
宮口町長	毎年かかるのかい。
山本教育長	<p>整備の全体像がまだわかりませんが、これくらいのボリュームにはなる可能性があります。</p> <p>小学校が2校あるので、本格実施になったら大津小学校もある程度整備することになり、初年度60万を用意すればいいという考えにはならないかと思います。</p>
宮口町長	ある程度整備したものが毎年5~60万かかるのかい。
山本教育長	備品であれば初年度に購入してしまえば、それを活用しながら毎年使います。
宮口町長	公開授業やって、それにかかる経費がかかって、それで終わりでしょ。
須藤補佐	3年間です。
宮口町長	3年間ね。
山本教育長	先進的なノウハウが豊頃町で作られていくので、プログラミングの授業展開を各学校がするには、有益だと思います。
宮口町長	<p>国から補助事業として10万くれるけど、返さなければいけないということではないんでしょ。</p> <p>向こうで7万円は何に使うんですか。</p>

須藤補佐	備品を購入して、配付するということと、巡回指導に 35,000 円となっていますけれど、こちらも全部使えるわけでもなく、うちに下りてくるのは 32,000 円で、あとの 3,000 円は局置きという形を聞いております。ただこれも今のところの案ですので、どのように配布されるのかは、まだ流動的です。
山本教育長	北海道でこの事業に 500 万しかみてません。それを 20 校で割ったら必然的に 10 万そこそこのお金になってしまいます。
宮口町長	費用負担は一定程度、町単費が必要ということですね。
櫻井委員	教育の充実という点で損して得とるといふね。
宮口町長	そうですね。 豊頃町が稲田小学校と一緒に選ばれた理由は何ですか。
須藤補佐	先ほど教育委員会議でお知らせしたのですが、1 点目は今までやりました ICT 教育で設備が整っていること。あと 2 点目は一本釣りになるのですが、豊頃小学校にいる B 先生が大変このプログラミング教育に精通されているということで、研究所からも先生が妥当ですよ、ということをご頂きてその 2 点を持って豊頃小学校にお願いしたいという事で、局から要請がありました。
宮口町長	B 先生っていくつくらいの方ですか。男性、女性。
須藤補佐	男性です。
山本教育長	44～5 歳というところです。
宮口町長	豊頃へ来て何年目ですか。
須藤補佐	4 年目です。
宮口町長	わかりました。他に何かありますか。よろしいですか。
各委員	はい。
宮口町長	それでは短時間でしたが、それぞれ問題解決に御協力いただきありがとうございました。また 8 月の結果を見て、それぞれ皆さんにご協力いただくこととなります。今後とも教育振興のためによりしくお願いいたします。